

クーラーと工場扇寄贈 星置養護にソニック社



(左から) 櫻井社長、浅井校長、杉林良太郎支店長

星置養護学校(浅井謙作校長)は14日、同校で(株)ソニックの寄贈型SDGs私募債引き受けによる寄贈式を行った。同社が(株)北陸銀行麻生支店から融資を受けたもので、同校は窓クーラーと工場扇を受け取った。浅井校長は「学校全体で恩返しをしていきたい」

と話した。

ほくぎん寄贈型SDGs

私募債は、一定の財務基準を満たした優良企業が、その信用力を背景に発行するもの。

発行企業の希望によって、同行が受け取る手数料の一部をSDGsに積極的に取り組む地方公共団体や

学校などに寄付することができる。

同社は、私募債5000万円分を発行。櫻井利行社長の「地元の養護学校を応援したい」という考えから、今回、同行を介して同校に窓クーラーと工場扇を寄贈した。

櫻井社長は「今回よりもさらに支援をしていければ。市内の養護学校全てに支援することを目指している」と話した。

浅井校長は「子どもたちの笑顔を地域の人々に見せて、学校全体で恩返しをしていきたい」と話した。